

# まちづくりルール

い の う え き た

# 井上北地区

【平成21年10月1日告示】

名 称	井上北地区計画
位 置	豊田市井上町2丁目
面 積	約1.7ha



井上北地区計画の区域



## 井上北地区まちづくりの目標

周辺の自然環境に配慮するとともに、郊外住宅地にふさわしい良好な居住環境の形成を図り、魅力あるまちづくりを実現するため、地区計画を定め、より良好な住環境を形成します。

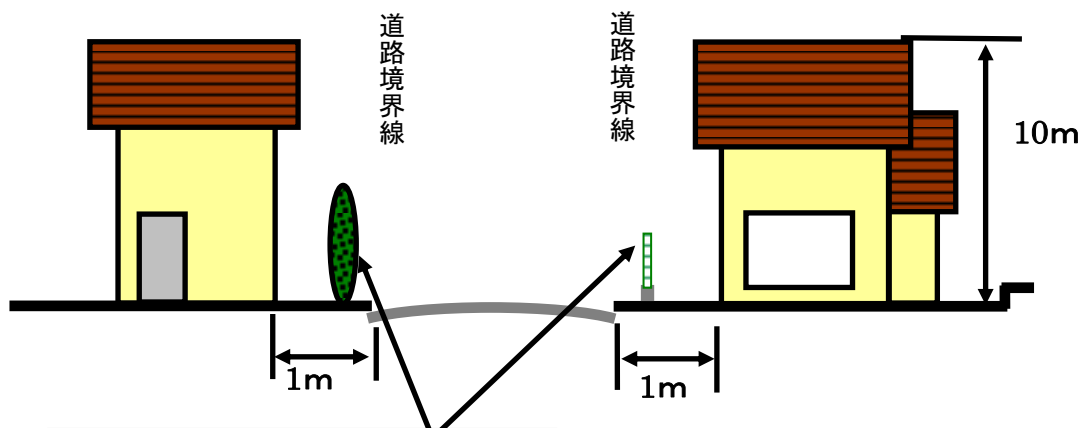
### 《井上北地区計画における建物に関するルール》

井上北地区では、以下の内容が建物について定められています。

- ① 用途の制限
- ② 建ぺい率・容積率の最高限度
- ③ 最低敷地面積
- ④ 高さの制限
- ⑤ 壁面後退
- ⑥ 垣又はさくの構造
- ⑦ 形態・意匠

区域内で建築できる建物は、住宅と住宅で事務所、店舗これらに類するもの及び共同住宅の建築が可能となります。

屋根や壁の色は、健全な住宅地にふさわしいものとし、原色は避けましょう。



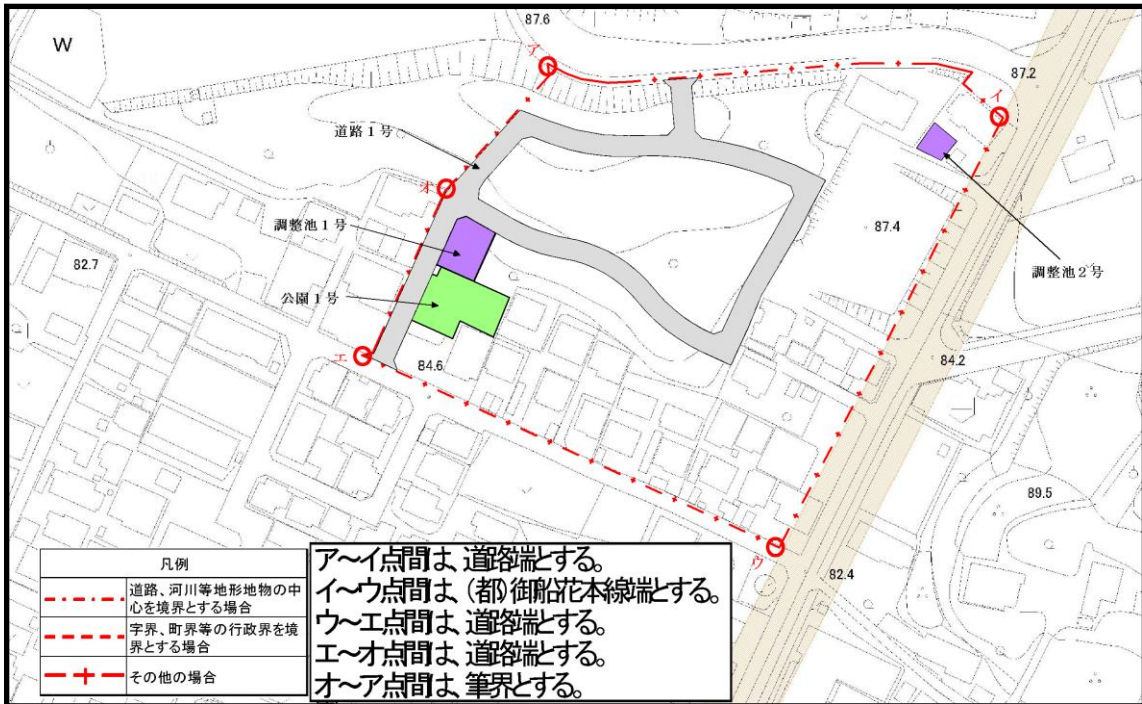
道路境界線から1m未満に垣又はさくを設ける場合には、生垣やフェンスその他透視性のある鉄さく等とします。

敷地面積は、200㎡以上とします。

## 井上北地区まちづくりルール

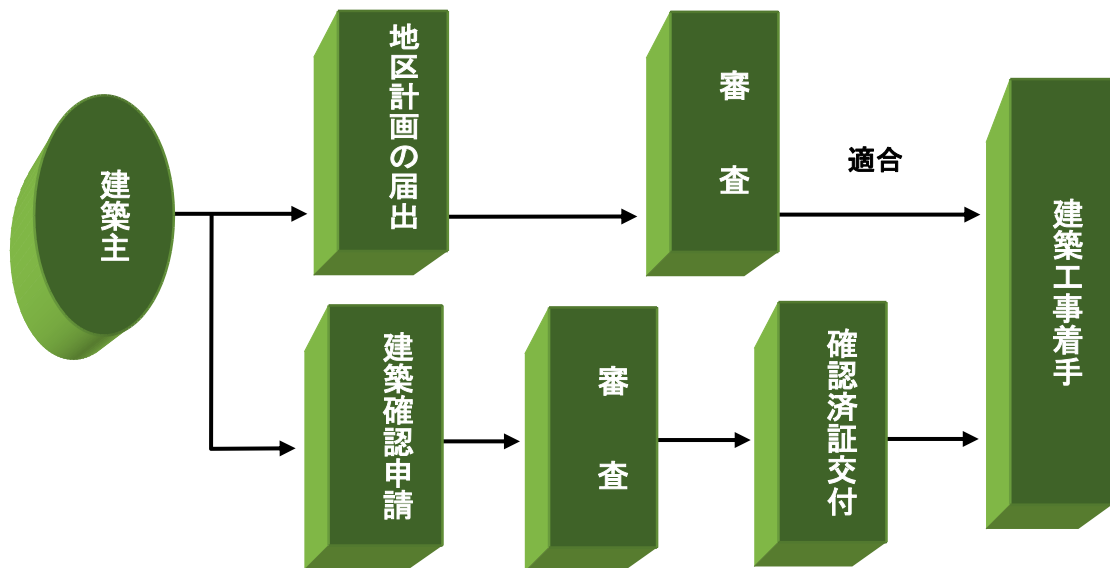
建築物等に関する事項	建築物の用途の制限	次に掲げる建築物以外の建築物は建築してはならない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住宅</li> <li>2 住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねるもののうち、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「政令」という。）第130条の3で定めるもの</li> <li>3 共同住宅</li> <li>4 前3号の建築物に附属するもの（政令第130条の5で定めるものを除く。）</li> </ol>
	建築物の容積率の最高限度	10 / 10
	建築物の建ぺい率の最高限度	6 / 10
	敷地面積の最低限度	200 m <sup>2</sup>
	建築物の高さの最高限度	10 m
	壁面の位置の制限	建築物の外壁またはこれに代わる柱の面（以下「外壁面等」という。）から敷地境界線までの距離（以下「後退距離」という。）は、1 m以上でなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するものはこの限りでない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 物置、車庫等の附属建築物で、軒の高さが3.0 m以下で、かつ、後退距離の限度に満たない部分の床面積の合計が12 m<sup>2</sup>以内のもの。</li> <li>2 建築物の附属部分等で、出窓、ベランダ、バルコニー、テラス、屋外階段その他これらに類するもの</li> <li>3 建築物の敷地面積が200 m<sup>2</sup>に満たない敷地の外壁面等から道路境界線以外の敷地境界線までの距離（当該後退距離が50 cm以上のものに限る。）</li> </ol>
	垣又はさくの構造の制限	道路又は公園に接する敷地境界線から1 m未満の距離に存する垣又はさくの構造は、生垣又はフェンスその他透視性のある鉄さく等（基礎を有する場合にあっては、基礎の高さ（敷地地盤面からの高さ）をいう。）が0.6 m以下のものに限り、としなければならない。  ただし、門扉にあっては、当該部分の道路からの見附面積の合計が5 m <sup>2</sup> 以下のものはこの限りでない。
建築物等の形態又は意匠の制限	建築物等の色彩、形態等は、次に定めるところにより設置するものとする。ただし、市長が制限の対象としないと認めたものについては、この限りではない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 建築物の屋根、外壁又はこれに代わる柱の色彩は、豊田市景観計画に基づく景観形成基準を遵守し、周囲の環境と調和した色調とする。</li> </ol>	

## 計画図



### 届出勧告制度 について

建築物の建築や開発行為などを行おうとする場合には、**30日前**までに、これらの計画について市に届出が必要となります。



### お問合せ

- ・地区計画の内容に関すること
- ・届出や届出書類に関すること

豊田市役所都市計画課 0565-34-6620